

平成 2 9 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

# 平成29年度 事業報告(総括)

## 1. 基本目標

本年度の重点目標である「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を合言葉に全職員で取り組み、利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
- ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
- ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

を全員で朝礼において唱和することで新人職員にまでも周知ができました。年間を通しての利用者様は以下の通りである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2931	2981	2985	3097	3077	2997	3086	2975	3091	3097	2788	3067	36172

年間延利用者数 36172 人でした。

平成29年度は1年間365日でしたので、1日平均99.10人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

要介護4の方が、40名・要介護5の方が45名と、入所者の85%を要介護状態の重度の方が占めています。

ターミナルケアの希望も多くあり、27名の方を看取らせていただきました。

医療ニーズは今年度も高く、施設顧問医師への依存度が大きくありました。

ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉を多くいただき、職員一同の励みとなりました。

## 2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に、地域社会との交流を深めました。

- ・職員ひとりひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
- ・各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・地域行事への参加も、積極的に行う事が出来ました。
- ・尊厳を保持し、自立を支援ができるように介護職員の内部研修と OJT を強化しました。

## 3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現向け、法人内の各事業所同志が連携を強化しました。
- (2) 地域との交流を大切にし、地域の福祉ニーズに応えるべく努力しました。  
緊急の入所等に対応する体制をつくりました。
- (3) 毎月発行する『サンシャインビラたより』により、施設外に情報を発信するとともに、利用者様・ご家族様に施設の様子をお知らせしました。

## 4. 中期目標

福陽会キャリアパスの運用により、人材育成と人材の定着が図れました。

## 5. 本年度の重点目標

職員一同力を合わせ『やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り』を合言葉に、サービスの質の向上に取り組みました

- (1) マイナンバー制度等を正しく理解し、情報の管理を行うために鍵のついたキャビネットの購入をすすめました。
- (2) 人材育成に力を入れ、稼働率が高位に安定するように取り組み、本年度の平均稼働率は99.10%でした。
- (3) チームワーク良く連携をはかり、利用者の生活支援をしました。中でもターミナルケアで看取らせていただいた後のご家族様から、温かい感謝の言葉をいただき、職員の励みになりました。
- (4) 報・連・相の徹底により、職員間で情報の共有ができました。

# 職 員 構 成

平成 30 年 3 月 31 日現在

担 当 職	職 名	職 員	非常勤	
運 営 管 理	施 設 顧 問 医		1	
	産 業 医		1 (外部委託)	
	施 設 長	1		
経 理	事 務 長	1		
	事 務 員	1	1	
保 守 管 理	介 助 員	1	1	
介 護	介 護 主 任	1		
	生 活 相 談 員	1	1 (兼務)	
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リ ー ダ ー	1	5
		サ ブ リ ー ダ ー	1	
		担 当 者	5	
	2 F	リ ー ダ ー	1	3
		担 当 者	7	
	3 F	リ ー ダ ー	1	7
		サ ブ リ ー ダ ー	1	
	担 当 者	7		
医 務	医 師		1 (施設顧問医) 2 (外部委託)	
	看 護 主 任	1		
	看 護 師	3		
	准 看 護 師	1	1	
調 理	管 理 栄 養 士	1		
	リ ー ダ ー	1	2	
	調 理 員	4		
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン	柔 道 整 復 師	1		
	理 学 療 法 士		1	

# 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

開催	会議名	月												開催計 (回)
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
随時	経営会議		1											1
月1回	運営会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
随時	人事制度会議													0
	入所判定会議	2	3	2	2	1	3	2	3	2	3	1	2	26
	看取介護会議	5	5	3	2	4	4	7	5	8	10	8	10	71
随時	行事計画会議	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1		10
偶数月	利用者懇談会	1		1		1		1		1		1		6
計画日	ケアプラン会議	4	6	5	5	5	4	5	4	4	3	4	6	55
	介護主任 リーダー会議	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
	栄養会議	3	3	3	2	3	5	4	4	3	3	4	3	40
月1回	衛生会議	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	25
月1回	感染症対策会議	1	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
毎水曜日	事故防止会議	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	3	48
月1回	防災会議	1	1	2	3	1	2	2	1	1	1	3	1	19
月1回	虐待防止会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	苦情対策会議	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	4	1	16
月1回	研修委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1				9
	口腔衛生管理委員会	3	4	3	4	3	4	4	4	2	2	3	2	38
月1回	褥瘡防止委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	拘束廃止委員会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
月1回	排泄委員会	1	1	1	1	1	1	1	2		1	1	1	12
	看護職員と 介護職員の連携委員会		1	1	1	1	1	1		1		1	1	9
月1回	厨房委員会	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	13
4月・10月	活動責任者委員会	5	1					4						10
随時	3施設入所者 情報交換委員会			1									1	2
	その他	1		1	3	1	1	1	2	2	1	1	2	16

## 職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理について

### (1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っている。  
29年度は、4月に57名、10月に夜勤業務を行う職員等23名が受診した。

### (2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師((以下 産業医と表記)により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施された。

### (3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施している。

### (4) 館内の労働環境整備

- ① 年間を通じて空調整備を行っている。インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っている。感染症が発生したら、蔓延防止の為に指針を踏まえ、各職員が機動的に行動できるように看護主任を中心に、網羅的な研修・指導を行った。
- ② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めている。職員の事故防止の為に、日々、設備・備品の点検を行い、不備や不具合にできる限り迅速に対応している。

### (5) メンタルヘルスについて

11月に外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計した。

今後も、産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作成を継続する。

## 平成29年度 利用者外出・外泊・面会状況

項目 月	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	3	3	0	0	49	204	6.8
5	3	3	0	0	50	218	7.0
6	0	0	0	0	54	229	7.6
7	3	3	0	0	57	164	5.3
8	6	6	1	2	57	289	9.3
9	6	6	0	0	59	278	9.3
10	2	2	1	2	59	247	8.0
11	1	1	1	1	63	245	8.2
12	1	1	0	0	65	303	9.8
1	2	2	2	8	62	284	9.2
2	3	3	0	0	45	208	7.4
3	4	4	0	0	63	329	10.6
合 計	34	34	5	13	683	2998	8.2

## 平成29年度 保険者別入退所状況

H29.4.1～H30.3.31

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	2	5	0	1	7	1
あきる野市	2	1	0	0	3	0
区	1	0	0	0	1	0
北区	0	0	0	1	0	1
国立市	0	0	0	1	0	1
葛飾区	0	1	0	0	1	0
品川区	0	0	0	1	0	1
渋谷区	0	0	0	1	0	1
市	0	0	1	0	0	1
羽村市	0	3	0	2	3	2
調布市	0	1	0	1	1	1
市	1	0	1	0	1	1
福生市	4	9	8	8	13	16
府中市	0	0	1	1	0	2
瑞穂町	0	1	0	0	1	0
市	0	0	0	1	0	1
目黒区	0	0	0	1	0	1
岩手県						
北上市	0	1	0	0	1	0
合 計	10	22	11	19	32	30

## 【看護の報告】

### 1、医務診察

定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科           水曜日 青山美穂医師（施設顧問医師）  
                  木曜日 宗岡雅子医師
- ② 精神科       月曜日 高妻雅和医師
- ③ 歯科       火・金曜日 若林偵子歯科医師

### 2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。
- ② 年一回の利用者健康診断を平成 29 年 5 月 30 日（火）に 98 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族等に説明し同意のもとで受けていただきました。健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。  
また、入所時にご家族等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（98 名）
- ⑥ 肺炎球菌の予防接種も、ご家族等の希望を確認した上で、平成 29 年度に対象者 16 名が接種しました。
- ⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の昼薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬と、夕薬の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。介護職員に夕薬の服薬を依頼している時間は、医務診察の整理、翌日の医務診察の準備や、内服薬の管理、一包化、臨時薬の作成などを行っています。

### 3、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種でのミールラウンドの実施により、経口維持 4 算定に役立ちました。

### 4、職員定期健康診断

- ① 職員は 4 月（全対象職員）と 10 月（夜勤業務に従事する職員）に健康診断を実施しました。健診結果は安全衛生会議で産業医の青山美穂医師により全体指導があり、異常所見に対しあきる台病院高妻雅和医師より個人面談指導がありました。（8 名）
- ② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は、全員接種しました。（63 名）

### 5、感染症対策

- ① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの改訂、内容の厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。
- ② 感染症を持ち込まないという意識をもち、職員一人一人が感染対策の基本をしっかりと行ったことで、利用者様のインフルエンザの発症はありませんでした。

## 6、看取り介護の充実により、手厚い看取り介護の実施

- ① 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。平成 29 年度は 27 名の方を施設で看取らせていただきました。
- ② 利用者様及びご家族等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に説明し記録しました。
- ③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。  
ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

## 7、その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は、必ずご家族等に連絡をしました。連絡時の内容等は記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。  
0点以外の方は、概ね3ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。  
鼻腔からの経管栄養 1名 胃瘻からの経管栄養 2名 バルンカテーテル 2名
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

## 平成 29 年度介護主任報告

「やさしさをこめて丁寧な～安全安心な施設作り」を実現できるよう利用者様一人ひとりに、しっかり目を向け小さな変化にも気付くよう取り組みました。フロアー主催のフロアー活動を取り入れ利用者様の生活に楽しみが増えると同時に職員のやる気向上に繋がりました。

### ・人材育成

年度初めからの勤務時間体制が変わり業務の取り組みにリーダー、サブリーダー中心となり試行錯誤しながら、利用者様の生活を豊かになるよう各部署協力も得 何とか形にする事が、出来ました。

実務者研修も始まり資格修得の為受講する職員の介護技術、質の向上に繋がったと思います。新人職員には、エルダーメンター制度により精神的にも支えながら、業務の習得も出来るようにした。

人材が定着安定することにより、フリー日勤 日勤も確保できるようになったが、介護職員としてのあるべき姿勢の認識心構えと倫理観と社会性、組織の中で適切に行動できる人材を、育成していくためには、介護職員がやりがいを持って働けるようにするためには、どうしたら良いか、環境整備 制度に対応しながら、行う難しさはあり、今後の課題でもある。

### ・事故防止

日々の申し送り等で、利用者様の状況や変化を、把握に努めたが骨折事故、褥瘡発生等があり、内出血等の報告は多くどのように、対策すれば良いか困難であった。全スタッフへの周知徹底の困難さも感じました。

今後の課題のとしては、今までのフロアー特徴にあった利用者様の居室変更が困難となっている。利用者様のフロアー移動する上での職員の意識を変え利用者様が、フロアー移動してもサービスの提供に変化なく丁寧に行い 安心して過ごして頂けるように継続する。

### ・身体拘束

その方らしい生活を、支援するため各部署連携し今年度も「0」を継続することができました。

虐待防止では、不適切なケアを行放置することにより、虐待につながり傷つけてしまう自分自身の言動を振り返り、見つめ直す権利擁護の研修を行った。仕事のラインを決め業務にあたる事が必要だと思われた。

- ・感染予防

衛生会議と感染症対策会議にて施設顧問医師の指導いただき対策を、実行しました。医務指導の内部研修強化や 面会者へ感染対策の説明を事務所で行い協力を得 各部署連携しインフルエンザの蔓延を防止できました。

一方職員が風邪等感染源となり利用者様へ辛い思いをさせてしまう事もあり、まだまだ職員の意識改革指導は継続していく。

- ・非常災害時に備えて

非常用袋の中身を見直し各フロア一統一しました。

警察官による防犯研修 さすまたを、使用し実技訓練を、指導うけました。地震発生時に火災が、発生し初期消化を行うという想定での訓練では、消火器の使い方や屋内消火栓の使い方を学びました。

## 平成 29 年度生活相談員事業報告

平成 29 年度は、全体目標「やさしさをこめて丁寧な～安全安心な施設作り」の実現を目指して、施設全体のあり方を見直し、また生活相談員としての日々の業務に携わりました。目標達成のために、二つの課題を掲げ、それに取り組みました。

一つ目としては、「相談援助」において、やさしさと思いやりを持って、利用者様とご家族様等に寄り添うような支援を行うこと、そして、問題が生じた時には丁寧に且つ誠実に対応し、解決を図るというものでした。

近年、入所される利用者様の多様化が進んでいます。世代が替わりつつあり、これまでの世代の方たちにはなかったような生活習慣や価値観を持った方たちも入所されるようになっていきます。そのため、施設に入所した後も、これまで行ってきたことを続けたいとの要望が出されることも増えてきました。そうした要望にどのように応えるか、問題になることがあります。利用者様の思いを受け止め、施設の中でできることを他部署とともに検討し、誠実に対応してきました。

また、ご家族さまへの連絡や相談に関しては、面会時や電話連絡の際、生活の様子や健康に関する情報を伝え、ご家族様のお考えやお気持ちを伺うようにしています。特に、健康面に関して、体調の変化がある時には看護師からご家族への連絡の場に立会い、また、医務からの要請で、家族連絡も行いました。

目標達成のための二つ目の課題は「安全安心な施設作り」のためにリスクマネジメントに取り組むというものでした。これには、事故防止、感染予防、防災、虐待防止が含まれ、また、拘束廃止、苦情対応等、様々な分野が関係しています。これらの、どの分野への取り組みが不十分でも、利用者様が安心して暮らせる施設の実現は難しいこととなります。生活相談員としてそれぞれの分野の会議や委員会に携わり、取り組みを強化できるよう発信を続けました。これまでも施設全体で「虐待の芽」について学び、サービスの質の向上をめざして来ましたが、この年度の後半では「不適切なケア」について考える取り組みを始めています。この施設の中で、そのようなケアが行われていないか気づくことが改善の第一歩であると思います。今後も、介護の質を向上させるために努力を重ねていきたいと思っています。

他に、福祉施設としての役割を果たし、運営基盤の安定化のため稼働率を上げるよう取り組みました。入所申込者の減少は数年前から続いています。昨年、この西多摩地区の特養で始まった「西多摩特養ガイド」に、私どもの施設も参加し、施設の良さを広く知っていただこうと、多部署で取り組んでいます。この「西多摩特養ガイド」をとおしての、様々な問い合わせや入所の申込みも増えてきまし

た。

平成 29 年度、入所された方は 32 名でした。そのうち、市内からは 13 名、多摩地区の市や町からは 16 名、区部からは 2 名、他県からは 1 名の方が入所されました。それぞれの方の入所に当たって、入所相談や見学案内に始まり、入所判定会議の開催、入所前の情報収集や各部署への情報伝達、入所当日の面接や契約等の業務を、誠実に行いました。退所された方は 28 名でした。そのうち、他の施設に移られた方が 1 名、病院に入院された方が 1 名でした。

利用者様が、生活の中で楽しみや生きがいを見出せるよう、行事や慰問、各種クラブ活動等に携わりました。外出の機会を多く持っていただくために、「外出の日」を計画、実施し、散歩やドライブも行いました。様々なイベントに参加された利用者様の笑顔を引き出すことができ、その時交わした会話の中からその方についてより多くを知ることができました。

## 29年度 介護支援専門員事業報告

- ・本年度目標「やさしさをこめて丁寧に～安心安全な施設作り」をケアプラン作成に反映できるように意識しました。

業務を行う上で、今までと変わりはありませんが、介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

ご利用者様との関係を作っていくことを大切にし、お話を傾聴する姿勢を基本にし、「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思って頂けるよう努めました。

ケアプランの作成をする上では、ご利用者様の出来ない事や援助が必要なことは勿論のこと、「できる事＝その方の強み」と考え、その方らしさを支援していけるような内容で作成できるように努めました。今後も他職種と協力しながら、取り組んでいきたいと思えます。

- ・定期のケアプラン見直し（三ヶ月、六ヶ月）実施は漏れなく行えました。また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。

- ・会議日程の作成に関しては、ゆとりをもった件数（五件程度まで）になるよう日程調整を行いました。

- ・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、ミールラウンド、適宜プラン作成が行えました。

ターミナルケアについては、プラン見直しを必要時適宜開催に加え、本年途中より、期間を新たに設定し直しました。短期目標を一か月間、長期目標を三か月とし、より短期間で細かにプランを検討できるように取り組みました。

ターミナルケアの振り返りは、対応職員へのグリーンケア等、ひとつひとつのケースにつき、継続的に検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。

褥瘡ケアについては、作らない事を前提にリスクが高い方については予防策を行う。創部改善には各部署連携し対応をできるよう、今後もプランを作成します。

ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取が継続できるよう、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。

- ・緊急ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思えます。各関係者の皆さんとも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。

- ・認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。

## 平成 29 年度 1階フロア報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目指して介護の質のさらなる向上に努めました。

### 1. 介護力の向上(人材育成)

- ・利用者様の状態把握に力を入れました。個人記録への入力を充実し他部署との連携を強化しました。
- ・決められたことを全職員が周知徹底できるように連絡方法を工夫した結果、確実に伝達できるようになりました。
- ・利用者様の生活の活性化のために毎日行なうレクリエーションについて1週間分の予定を立て、実行しようとしたが、計画どおりに行なうことが出来ませんでした。毎日行なえるように業務を組み立て直す必要があります。  
6月にフロア活動として、テラス喫茶を行ないました。いつもとは違う雰囲気利用者様の笑顔が多くありました。
- ・口腔ケアについてや、移乗介助について等、直接専門職からの指導助言により、理解が深まり知識と技術が向上しました。
- ・外部研修、内部研修には勤務の調整をして多くの職員が参加出来るようにしました。
- ・新入職員にはエルダーメンター制度により、育成にあたり知識と技術を習得してもらいました。
- ・居室担当者は、担当居室の利用者様と基本的な関わりの中から得られた情報を個人記録に入力しアセスメントすることにより、その方にあったケアプランとなったが、プラン内容の把握に不十分さがありました。把握をするための工夫に努めていきます。
- ・利用者様の整容面と居室等の環境整備について、課題が残りました。今後、意識を高め、しっかりと対応できるよう対策を立てて行きます。

### 2. 褥瘡予防

- ・褥瘡のアセスメントと毎日の皮膚観察と各部署の連携により、発生の防止と悪化の防止に取り組みました。

### 3. 事故防止

- ・ヒヤリハット報告が多数出ました。それらを検証し再事故の防止に取り組みましたが、1件の骨折事故がありました。
- ・誤嚥事故の防止には、食前の嚥下体操により嚥下能力の低下防止が有効と理解していたが、継続して行なうことが出来ませんでした。継続する

体制を作って行きます。

- ・ナース不在時の服薬介助での、誤薬の事故はありませんでした。

#### 4. 感染症の予防

- ・標準感染予防策を全職員が実行しました。その結果インフルエンザ等の発症はありませんでした。  
その他の感染症のまん延もありませんでした。
- ・職員においても、自分自身の健康管理を行い心配のある時には、看護師に報告し指示を受けて行動したことが、感染症の発生を防ぐことにつながり、今年度の成果となりました。

#### 5. 防災

- ・防災グッズを常に使える状態にして置きました。
- ・天袋の防災用金具は、日直が居室訪問の際に確認し、いざという時に備えることが出来ました。
- ・職員の喫煙所の火の元の確認を1階職員が中心になり行いました。夜勤帯での職員の喫煙についても、火の用心に努め火災の発生はありませんでした。

#### 6. 看取り介護

- ・静養室が1階にあるため、看取りをさせていただく機会が多くあることが1階の特徴です。利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという思いで、ケアさせていただきました。ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあります。振り返りや内部研修などにより、職員の精神面への配慮に力を入れました。

## 平成 29 年度 2階フロア報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目標に、取り組みました。

### 1. 尊厳を保持し自立を支援する

- ・利用者様と関わる時間を多く持ちました。  
他部署とも連携を図り、その方の気持ちに添うことにより、利用者様の思いや希望を知ることが出来ました。
- ・気持ちを上手に伝えられない利用者様への気配りは十分とは言えず、今後の取り組み課題となりました。
- ・職員は常に笑顔で優しい気持ちでケアを進めましたが、時として現れる言葉遣いや職員間の私語等、サービスマナーの徹底が不十分でした。
- ・11月9日に行ったフロア活動「ホットケーキバイキング」は、大盛況で楽しい時間となりました。
- ・毎日のレクリエーションは、定着できずに成果が出せませんでした。
- ・利用者本位のサービス提供をベテラン職員が後輩や新人職員に示したことで、介護力の向上が図れました。

### 2. 居室担当の役割

- ・個人記録への入力意識が高まり、日々の記録が充実しその方の生活状況等が分りやすくなり居室担当者からの発言が多くなり担当者としての責任感が向上し、アセスメントに役立ち、プランに反映できました。
- ・爪きり等の整容面や居室内の環境整備については、今後更に意識を高めていく必要があります。

### 3. 事故防止

- ・日頃から、ヒヤリハット報告により、大きな事故の防止に取り組んでいましたが骨折事故がありました。原因の究明と再事故の防止を強化します。
- ・4月から職員の勤務体制が変更になりました。それに伴い生じる問題等を一つ一つ解決することにより、職員は変化に対応できる力が身につきました。

### 4. 感染予防

- ・内部研修で学び合い、看護師からの指導助言を受け、職員は自分自身が感染源とならないように努めましたが、職員が風邪等を施設内に持ちこんでしまったような事例がありました。これを教訓とし、再度このようなことが起きないように健康管理を徹底します。

- ・利用者様、職員共々、風邪症状等がみられた際は、拡大を予測し、看護師等と連携し、感染予防策を実施するとともに標準感染予防策を徹底しました。その結果、インフルエンザの発症はありませんでした。
- ・室温、湿度、換気等への意識が高まりました。
- ・嘔吐の対応グッズについて内容を見直し、必要時にいつでも使えるように設置しました。

#### 5. 非常災害時の備え

- ・耐震対策具を1日1回、確認することを計画しましたが、実行が出来ませんでした。地震発生時のことを考えると必要なことですので、行なって行こうと思います。
- ・非常持ち出し袋の内容を見直し、緊急時に備えました。
- ・排泄用品を、3日分確保しました。
- ・福生警察の方による不審者対策の内部研修を受けて、職員の防犯意識が高まりました。

## 平成 29 年度 3階フロアー報告

- ・一年間の振り返り

利用者様の生活に深くかかわりを持ち、安心していただけるようにと思い「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を合言葉に職員一丸となって取り組みを行った結果とし、職員の介護動作が今までよりもさらにていねいになりました。

- ・人材育成

新人職員へ指導を行うことにより、指導する側も指導を受ける側も、相互にスキルアップを図ることができたことはお互いにとっての成果でした。各レベルの職員にはそれぞれに合わせて、リーダーが指導助言を行いました。指導後に効果を振り返り確認しながらすすみ、全体的なレベルアップが図れました。

- ・居室担当の役割

記録の入力方法が一部新しくなり、それに慣れるまでに多少の時間を要しました。しかし、新しくなったことにより、意識が高まったり、観察力が高まったという利点がありました。アセスメント時に役立てて居室担当者からの情報発信ができました。

個人記録への入力では、個人により力量の差がありますが、サブリーダーが中心となり指導と確認をし、内容の充実が図れています。

衣類等の整容面と環境整備についても居室担当が中心となり、職員間で声を掛け合い整えました。

- ・レクリエーション等の活動について

各食事前の「嚥下体操」、「ボールゲーム」「歌集を利用した歌」等を、毎日行い活性化に役立てました。

フロアー活動では、クレープを焼いて食べたり日常的には食べにくいポテトチップ等のお菓子を食べ、にぎやかに過ごしました。

レク活動については、今後も充実を図って行きます。

- ・事故防止

大事には至りませんでした。ご自分で行動される方々の転倒等がいくつかありました。行動パターンや排泄パターンの確認を行いリスクの軽減に努めました。

食事姿勢への配慮や時間にとらわれないようにしようと言う気持ちのゆとりで誤嚥事故の防止が出来ました。歯科医師と歯科衛生士からの指導助言によ

り、一人一人の利用者様の口腔の状態に合わせた対応も誤嚥事故の防止になりました。

職員が介護者本位の仕事にならないように業務を組み立て直すとともに、声掛けを工夫し、利用者様のペースに合わせ「自立の支援」と「尊厳の持」を意識したサービス提供をしました。

- ・感染予防

利用者様の手指消毒は、各食事前の日課として定着しました。職員は携帯用のアルコールを持ち歩き「1介助・1手洗い」を実行しました。

「もしかしたら？と感じたら即対応」他部署との早期の対応により、感染の拡大はありませんでした。

職員自身が感染源にならない為の努力も良い効果になりました。

新人職員にはリーダーが中心になり「標準感染予防策」を指導しました。

今期大流行したインフルエンザの発症がゼロということは大きな成果であったと思います。

今後、風邪等の体調不良時に口腔ケアをさらに充実できるように取り組んでいきます。

夜勤帯のトイレ誘導者において、朝方にリスクが高くなる傾向があることがわかったので、リスクを減らせる工夫を課題とします。

- ・災害対策

防災用品の確認をサブリーダーが行い、災害時にも困らないように排泄用品は3日分を確保しておきました。

防災会議の内容をフロア内で周知し防災意識を高めました。

- ・その他

グレーゾーンともいえる「不適切ケア」を「しない・させない・作らない」ために、職員がスキルアップに努め「強いチームワーク」のフロア作りに来期は取り組みます。

## 平成29年度 リハビリテーション事業報告

利用者様の日々の身体状況の変化と精神面の変化をアセスメントし、心身状態に変化が見られた際には訓練内容の変更等を行い、利用者様個々の状態に合った訓練を安全に行いました。

日常生活に定着した個別機能訓練計画書を作成し、状態の変化に応じて多職種での意見交換を行い、計画書の内容を検討しつつ、理学療法、生活リハビリでの個別機能訓練を行いました。

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を目標に内部研修も実践し、他部署との意見交換も行うことができました。

- ・ 個別機能訓練の実施記録はパソコン入力し、情報を他職員と共有することで連携がスムーズとなり、利用者様の状況把握に役立てることができました。
- ・ ケアプラン会議に出席し、各担当者と意見交換を行い、状況に応じて訓練内容の再検討も行いました。
- ・ 個別機能訓練計画に基づき、理学療法と生活リハビリの訓練を行いました。
- ・ 個別機能訓練計画の内容は、利用者様・ご家族様に説明し同意を得、計画書をお渡ししました。
- ・ 訓練を実施し、計画の長期目標と短期目標の達成を目指し、3ヶ月ごとに評価と達成度を確認し、次の計画作成時に役立てることができました。
- ・ 利用者様の状態変化時には、医務やケアマネージャー等と連携を図り、個別計画の中止や変更を行い、変更時には利用者様、ご家族様へ説明を行い、同意をいただきました。
- ・ 訓練室、ベッドサイド等にて理学療法での訓練を随時行っていきました。
- ・ 訓練内容については利用者様の要望、身体状況を考慮し、棒体操、平行棒、段差昇降器、セラバンドなどを使用して訓練を行いました。
- ・ 季節感のある行事、その他活動を生活リハビリの一環と考え、行事や活動の準備等、利用者様が参加できるよう働きかけを行いました。
- ・ 車椅子使用者のシーティングについても生活相談員、理学療法士、医務等とニーズに合ったものを使用していただけよう検討し、利用者様の座位姿勢の安定、改善に取り組みました。座位姿勢が安定しにくい方もおり、今後は新たなクッションの購入、座り直し介助、シーティングについての内部研修などは継続し、利用者様の様々な状況に対応していきます。
- ・ 半期に一度はベッド、車椅子の点検を行いました。必要に応じて交換、修理、業者への修理依頼を行いました。また利用者様の状態に応じてのサイドレールの調整も行いました。福祉用具の数などは下記に記します。
- ・ 歯科医師からミールラウンドの報告、訓練方法、姿勢保持の指導等を受け車椅子上での座位姿勢の指導、確認を行いました。
- ・ 介護職の方を対象に移乗介助の研修を一定期間にて行いました。

- ・ 感染症・事故防止・虐待防止・拘束の廃止等についての内部研修に参加し、他部署職員と共通の知識や認識を持ち、対応しました。事故防止についてはヒヤリハットの検証へ参加し、事故の発生原因を検討し、再発防止策について多職種にて話し合いを行いました。虐待防止のためにアンケートの実施、集計、それを元に振り返りを行いました。
- ・ 褥瘡を防止するにあたり、利用者様の褥瘡予防、褥瘡が発生してしまった場合には早期の治癒を目指しました。医務との連携を図り、皮膚状態の変化によってできるだけ早くベッドマット、クッションの変更などを行い、皮膚状態の悪化を防ぐように努めました。褥瘡防止用品についても購入の検討、古いものから新しい物への入れ替えを行いました。
- ・ 寝たきりの利用者様において、理学療法では関節可動域拡大訓練を中心に行いました。また拘縮予防を図る為の体位やクッション等の当て方については外部研修へも参加し、介護者に対しても内部研修等を行い指導しました。
- ・ 常に災害については念頭に置き、訓練室内の環境整備、非常口、消火器等の位置の確認、非常時における行動を意識しながら業務にあたりました。

(福祉用具一覧表)

車椅子	95台	
歩行器 (シルバーカー含む)	16台	
杖 (T字杖、多点杖)	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット (ジェルマット含む)	22	
エアマット (自動体交機能付き含む)	11	
施設内のベッド数		
電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1台	総数105台

(福祉用具購入記録)

予算 200,000円

購入額 201,866円

## 平成 29 年度 事業報告[栄養]

福陽会の理念をもとに旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り、衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成 29 年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き、旬の食材を取り入れた献立、利用者様からの聞き取りで得られた意見や要望に沿える献立の作成、器や盛り付け等、見た目からも「食べたい」と思っただけのような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(炒飯)の日の実施、季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ安全で見た目が良く栄養価も高いソフト食の提供を次年度も継続していきます。

### ■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択も含む）	：月 2 回以上
誕生日食	：月 1 回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月 2 回以上
パン・麺の日	：月 2 回以上

### ■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

### ■利用者様の健康管理

月に 1 度の体重測定結果や年に 1 度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がることが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていると考えます。

### ■感染症の予防

手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

### ■ヒヤリハット件数

前年度のヒヤリハット件数は合計で 6 件でした。内容は、異物混入：2 件 その他：4 件（職員食の配膳ミス・利用者様の食事形態のミス・高専賃への配食忘れ 2 件）今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：5 件 その他：2 件（発注ミス・検品ミス）の合計 7 件となり、前年度より 1 件多い結果となりました。次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、安全な調理環境を保てるよう努力していきます。

## 平成29年度 職員外部研修参加状況一覧

- 目的として多くの研修に参加した。それによって、参加者・参加者から伝達された職員に前向きな姿勢が現れ、良い成果となった。
- 提出される研修報告書は、それぞれのコピーを各セクションに配布し、共通の認識が持てるよう図った。

月	日	催者	テーマ	延べ参加人数
4	4	福生市福祉保健部	福生市介護認定審査会 委員任命書交付式	1
	7	東京都社会福祉協議会	東京都認知症介護実践者研修	1
	14	福生市介護保険事業者連絡協議会	平成28年度 総会	1
	21	東京都社会福祉協議会	機能訓練指導員研修委員会	1
5	23	東京都交通安全協会	東京都安全運転講習	1
	30	福生市福祉保健部介護福祉課	福生市日常生活支援総合事業開始後の状況報告	1
	〃	特養経営支援補助金事務説明会	東京都福祉保健局 高齢社会対策部 施設支援課施設運営係	1
6	23	西多摩保健所保健対策課 感染症対策担当	疥癬が発生、その時どうする	1
	30	東京都社会福祉協議会	平成29年度 第1回 秋川ブロック会	1
7	11	福生市役所	福生七夕まつり 民謡パレード説明会	1
	14	一般財団法人 東京都交通安全協会	平成29年度 安全運転管理者講習	1
	〃	東京都介護支援専門員研究協議会	専門研修課程Ⅱ	1
	25	福生消防署	自衛消防訓練審査会説明会	1
8	1	東京都社会福祉施設協議会	認知症ケアに関する研修会(基礎編)	1
	〃	CMAT	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	7	東京都社会福祉施設協議会	高齢者福祉施設におけるトラブル対応について	1
	18	東京都福祉保健財団	ヒヤリハット事例を交えたリスク管理の重要性	1
	23	CMAT	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	24	東京都社会福祉施設協議会	福祉職場サポート研修	1
	24～25	〃	東京都認知症介護実施者研修	2
9	5	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	7	中央労働災害奉仕協会	職場のコミュニケーション力向上セミナー	1
	21	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
10	4	介護支援専門員研究協議会	東京都介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1
	6	秋川ブロック研修会	情報意見交換会	5
	11	東京都高齢者福祉協議会	認知症に関する研修会	1
	〃	東京労働局労働基準部監督課	介護労働者の労務管理に関する説明会	1
	17	東京都	感染対策指導者養成研修	1
	26	東京都	認知症介護基礎研修	1
	27	青梅労働基準監督署	社会福祉施設労務管理講習会	1
	〃	都立福生高等学校	東京都立福生高等学校校定時制課程学校連絡協議会	1
11	1	東京都社会福祉施設協議会	食事形態の選択から「お食い締め」まで	1
	11～12	東京都福祉保健財団	地域リハビリテーション専門人材育成研修	2
	16～17	東京都高齢者福祉施設協議会	東京都認知症介護実施者研修	2
	24	東京都社会福祉協議会	フィジカルアセスメントについて	1
12	22	福生市介護事業者連絡協議会	介護保険制度改正について	2
	25	〃	〃	1
1	6	警視庁福生警察署	武道始式	1
	12	東京都交通安全協会	東京都安全運転講習	1
	19	福生市介護事業者連絡協議会	賀詞交歓会	3
2	16	秋川ブロック研修会	情報・意見交換会	1
	17	東京都高齢者福祉施設協議会	座位が変われば暮らしが変わる	3
	19	福生市地域包括支援センター	高齢者虐待対応研修会	1
	21	都立福生高等学校	介護報酬請求事務に関する研修会(応用編)	1
3	5	東京都社会福祉協議会	生活相談員研修委員会	1
	6	東京都社会福祉協議会 秋川ブロック	秋川ブロック会	1
	16	東京都社会福祉協議会	生活相談員研修委員会全大会	1
	22	東京都国民健康保険団体連合会	介護報酬改定に伴う事業者説明会	2
延べ参加人数 計				61

## 平成 29 年度 内部研修の報告

利用者様・ご家族様・地域の方々に信頼される質の高いサービス提供を目標に、全職員の資質の向上に取り組みました。

特に、介護職員の人材育成を強化するために職場内 O J T を強化しました。合わせて、管理職員の研修を充実し「管理職員から一般職員」に伝達できる仕組みにしました。

重要な事柄については、複数回の研修機会を設け、多くの職員が参加できるように配慮しました。

平成 29 年	4 月 2 6 日	新人職員研修	「オリエンテーション・法人理念・職業倫理・心構え」
		一般員研修	「オリエンテーション・法人理念・職業倫理・心構え」
	5 月 1 0 日	管理職員研修	「人事考課における考課者研修」
	5 月 2 4 日	一般職員研修	「接遇」
	6 月 2 3 日	管理職員研修	「介護職員処遇改善加算に関する基本的な考え方」
	2 8 日	一般職員研修	「コミュニケーション」
7 月	3 日	一般職員研修	「移乗介助」
	4 日	一般職員研修	「移乗介助」
	7 日	一般職員研修	「移乗介助」
	1 9 日	管理職員研修	「人材育成」
	2 1 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 5 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 6 日	一般職員研修	「防犯研修」
	2 8 日	一般職員研修	「感染管理の勉強会」
		管理職員研修	「感染症」
	3 1 日	一般職員研修	「移乗介助」
8 月	3 日	一般職員研修	「移乗介助」
	8 月 1 1 日	管理職員研修	「人材育成」
		管理職員研修	「事例検討（その方に合わせた支援）」
	8 月 2 3 日	一般職員研修	「個人情報保護(介護職員の守秘義務)」
	9 月 6 日	管理職員研修	「事例検討(安全な移乗介助)」
	8 日	一般職員研修	「移乗介助」
	1 4 日	一般職員研修	「移乗介助」
	2 2 日	一般職員研修	「事故対応（ヒヤリハット情報の共有）」
	2 7 日	一般職員研修	「疥癬のおはなし」
1 0 月	6 日	管理職員研修	「主任としての心構え」

	18日	管理職員研修	「褥瘡について」「情報管理」 「リーダーの育成」
		看護職員研修	「福祉施設としての介護老人福祉施設」
	25日	一般職員研修	「排泄介助（高齢者の排泄）」
	27日	管理職員研修	「考課者研修」「看取りケア」
		一般職員研修	「感染症及び食中毒の予防及びまん延の 防止のための研修」
11月	5日	新入職員研修	「オリエンテーション」
	8日	管理職員研修	「看取り介護」
	30日	一般職員研修	「高齢期の口腔ケア」
12月	4日	一般職員研修	「守秘義務」
	5日	一般職員研修	「守秘義務」
	6日	一般職員研修	「守秘義務」
	7日	一般職員研修	「守秘義務」
	8日	一般職員研修	「守秘義務」
	9日	一般職員研修	「守秘義務」
	27日	一般職員研修	「感染症及び食中毒の予防及びまん延の 防止のための研修」
平成30年	1月13日	新人職員研修	「オリエンテーション」
	19日	新人職員研修	「オリエンテーション」
	26日	管理職員研修	「介護保険法の改正について」
	2月23日	管理職員研修	「認知症」「看取り」
	28日	一般職員研修	「看取り・急変時の対応」
	3月28日	一般職員研修	「看取り介護」

- ・平成29年度は内部研修を頻繁に行い、正職員・非常勤職員ともに多くを学びあいました。学んだ知識と技術を仕事に活かせる様に取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。
- ・新入職員にはオリエンテーションを行い、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来ました。  
指導にあたる先輩も指導を受ける後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

## 平成 29 年度 苦情対策会議 報告

平成 29 年度も年間を通して、利用者様やご家族様、代理人様、外部の方々から、様々な意見を伺う機会がありました。その中には、苦情・要望・質問・感謝等があり、伺った意見をしっかりと受け止め、迅速に対応するように努めました。

苦情対策会議は、月一回開催し、寄せられた様々な意見を取り上げ、それに対する対応についても話し合いました。改善すべき点を検討し、その内容は会議録として、職員全体が読むことによって周知徹底を図ってきました。

皆様からの意見の内容としては、利用者様からは、職員のもの言い方や態度に対する苦情がありました。ご家族様からは、整容面の不行き届きについての苦情が何件もあり、介護の基本が出来ていなかったことへの指摘として、重く受け止めました。また、第三者委員の方が利用者様から聞き取った内容には、職員の不適切な対応を示す苦情や意見が含まれていました。

これらは、件数としては多くはないものですが、年間の目標とした「やさしさをこめて丁寧な～安心安全な施設作り」が十分には達成できなかったことを示すものでした。会議の中で、今後、私たちのケアの質を向上させていくために何を行っていくべきかを討議し、できることを始めていますが、さらに次年度への課題として継続していく所存です。

ご家族様からの意見の中には、施設に対する感謝の言葉や介護に対する良い評価等も多数ありました。

## 平成 29 年度 事故防止会議 報告

施設では、利用者様の生活の中で起こった、事故につながる可能性のある「ヒヤリハット事例」に「気づく」ことに力を入れています。事例が起こった時には多職種で検証し、原因を究明、対策を考察し、介護の見直しやケアプランの変更等を行ってきました。また、事故防止会議は、毎週水曜日に開催し、施設顧問医師の指導・助言をいただいて、事故、及びヒヤリハット事例を検証し、更なる事故の防止に取り組んできました。

平成 29 年度のヒヤリハット事例は、計 217 件でした（次頁参照）。また、転倒や転落その他の理由で病院を受診し、骨折の診断を受けた重大事故は 4 件ありました。その内 2 件は入院が必要なものでした。いずれも行政に事故報告を行っています。

## 平成 29 年度 排泄委員会の報告

排泄面の向上を目指し、プライバシーの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと、技術の習得への取り組みを行ないました。利用者様一人ひとりに合わせた使用物品の選択は各フロアの排泄委員とフロアリーダーの意見を参考にしながら行いました。排泄記録の統一性を図るために排便における目安を以下のように決めました。

(小量 いちご 3 個、中量 みかん 2 個、多量 りんご 2 個)

委員会を 12 回開催し、確認しながら進んだので充実した委員会活動でした。

## 平成 29 年度 厨房委員会の報告

毎月 1 回、各部署の代表者で、会議をしたので、検討事項や決定事項の周知徹底が図れました。

利用者様の食事についてと、職員の食事についての検討をしました。

インフルエンザや食中毒、その他感染症の発症もなく、安定した一年でした。

職員一人ひとりが意識を高く持ち、マニュアルや指針どおりに行動することにより大きな心配ごとが起きずに一年間過ごすことが出来たと思います。

## 平成 29 年度 研修委員会の報告

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、指導担当職員が新人介護職員を指導にあたり、OJTを強化しました。

管理職員研修を行い、管理職員から一般職員への伝達研修を行い、施設内の職員が共通の認識を持って行動できるようにしました。

新入介護職員に対しての、入職時のオリエンテーションを介護主任と介護リーダーが行うことにより、充実したオリエンテーションになりました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間を利用し内部研修を実施しました。

内部研修時には、勤務の調整をし、一人でも多くの職員が出席できるようにしたことが、周知徹底と共通の認識を持つという事に効果的でした。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で取り組むことが出来ました。

第三者評価の職員アンケートでは、内部研修に対し、職員の高評価の意見が多数ありました。研修報告書をアンケート方式にした事も参加職員の負担軽減になりました。

## 平成 29 年度 各委員会報告

「やさしさをこめてていねいに～安全安心な施設作り」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的とし、各委員会を開催しました。

- ・研修委員会

9 回委員会を開催しました。

委員会で、内部研修の予定を立て、全体会の中で内部研修を実施することにより、多くの職員が内部研修に参加することが出来ました。

- ・口腔衛生管理委員会

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

- ・褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配のある方に対して早期対応が出来たことは、成果です。

- ・拘束廃止委員会

委員会を 13 回開催しました。拘束は長期にわたり「0」です。

拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解し、介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

- ・排泄委員会

毎月委員会を行い、排泄の向上に取り組みました。コストに対する意識が少し薄かったと感じるところが反省点です。

- ・厨房委員会

委員会を 13 回行ないました。利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。献立に反映しました。

- ・活動責任者委員会

4 月と 10 月に合わせて 8 回開催しました。4 月には新旧の担当者の引き継ぎを行い、10 月には 11 月 3 日の文化祭に向けての打ち合わせ等を行ないました。とそれらにより、スムーズなことの運びとなりました。

- ・3 施設入所情報委員会

サンシャインビラ、第 2 サンシャインビラ、第 3 サンシャインビラ、合同で委員会を 2 回行ないました。入所については、西多摩特養ガイドが始まり申し込み者の獲得に役立っています。

## 平成29年度 忘年会活動報告書

場所 : 昭島フォレストイン昭和館

日時 : 平成29年12月7日(木) 19:00 ~ 21:30

費用合計 : ￥451,305

参加人数 : 45名 1人当たり￥10,029

1. 本年度は、経験者がおらず、開催直前に確認となった。早めの確認必要と感じる。
2. 各自の役割は前年度経験者に聞いて確認するが、全体の流れが分からず、確認すべき事もあり不安もあり、事前に全体のレジュメがあると、当日の動きが全然違っていたと思う。
3. 幹事集合時間に集合出来てない、粗品を各テーブルに配ったが、個々に説明されどこの袋に入っているかの確認も手間がかかり、しっかり一度集めて、説明して、役割決めればもっとスムーズにいったと思う。
4. 粗品配りをしている最中、確認もされないまま、全体役員が、時間を過ぎて開催されており、声を掛けられることもなく、全体の説明も聞く事もなく終了した。後で、個別に全体聴いている人に聞いて確認した。役員では、点呼をとり、全体のレジュメをもってやって欲しいと思った。

## 29年度 職員旅行活動報告書

場所 : 東京都内

(靖国神社・遊就館～ホテルニューオータニ～東京スカイツリー)方面

日程 : 第1班 5月18日(木) 15名

第2班 6月 1日(木) 14名

第3班 6月22日(木) 16名

参加人数 : 45名

費用合計 : ￥1,138,930 1人当たり ￥24,232

幹事の感想

1班

・第一班の旅行は日程を滞りなく進める事が出来ました。

ただ参加人数や旅程表等が決まるのが遅く、準備期間が短くなってしまい、買い出し等に手間取ってしまったため、もう少し早く決定すると良いと思います。

・ランチビュッフェでは楽しみにしていた方が多く、料理だけでなく水まで美味しいと好評でした。

・バスの中ではカラオケ・ビンゴ・DVD 等観るなどし、他部署の方とも親睦が深まり良かったと思います。

・今回は添乗員の気転、気配りで助けられ、申し訳ない気持ちになりましたが、無事に終えて楽しい旅行になりました。

2班

事故もなく楽しく過ごす事が出来ました。

ビンゴゲームは予算が限られていた為、苦劳しました。予算が限られていた為、苦劳しました。予算が少しの時は実施しなくても良いのではと思いました。

ビール・菓子・つまみ等、差し入れて頂き、盛り上がりました。出来ればビール等、個々で購入するよりも一括購入が出来れば良いのではと思いました。

3班

・お菓子を小分け人数分作り好評

・DVD・ビンゴ楽しかったとの意見多かった

・全員時間に集合出来た

・全員に写真を差し上げられよろこんで頂けた

・楽しかったと皆様の感想が聞けた

・2班との日数が近く良いアドバイスが出来た

・もう少し準備の日数があれば更に良かった

## 平成29年度 クラブ活動報告書

### ① クラブ活動について

それぞれの利用者さん一人ひとりの希望と残存機能を発揮する場としての活動を行うことができた。

一人ひとりにとって充実した時間を過ごして頂くことができた。

生活リハビリの一環としての活動への参加は非常に重要であった。

### ② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	先生及びボランティア名	担当職員
茶 道	K先生・I先生	介護職員
華 道	S先生	介護職員
手 芸	S先生	介護職員
書 道	I先生	介護職員
音楽療法	A先生	介護職員
カラオケ	—	介護職員
朗 読	S様・K様	介護職員
紙 芝 居	—	介護職員
スポーツ	K様・N様	介護職員
ラジオ体操	—	介護職員
映画鑑賞		介護職員
外 出	—	生活相談員
園 芸	—	介護職員
工 作	—	介護職員

# 平成29年度茶道活動報告

活動回数	21回	参加延人数	256名	平均参加人数	12.1名
活動報告	毎月第1・第3土曜日、午後2時より1時間程度活動されました。 利用者様はいつもとなく緊張された様子でお茶を点てられ、初めてお茶を点てられた方も楽しく参加されました。また、先生と美味しいお菓子を食べ嬉しそうに参加されていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	ホールでお抹茶とお菓子を頂きました。落ち着いた静かな様子でお茶を楽しまれています。		10月	慣れてきた利用者様はどんどんとお茶を点てられる様になった。お饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	24名
5月	先生に指導を受けお茶を点てられる様になった方。また、茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。		11月	文化祭にて、多くの方に茶道を楽しんでいただいた。	
参加人数	実施2回	25名	参加人数	実施1回	12名
6月	ホールにて美味しいお菓子とお抹茶を頂きました。皆様落ち着いた静かなひと時を過ごしていました。		12月	今年最後の活動に参加され、一時間静かなひと時を過ごされていました。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	27名
7月	複数回参加された方が活動日を楽しみにされ参加して頂きました。 ホールでお抹茶とお菓子を頂きました。		1月	美味しいお菓子と美味しいお茶を楽しみました。 他者のお点前を真剣に見つめている方もいました。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施2回	24名
8月	多くの方に茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。落ち着いた静かなひと時を過ごしていました。		2月	慣れた手つきでお茶を点てられ、点ててもらった抹茶とお饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施1回	12名
9月	久しぶりに参加された利用者様も楽しまれた様子で茶道に参加されました。皆さん、お饅頭を美味しく召し上がって茶道を楽しんで頂いた。		3月	多くの利用者様に茶道を楽しみにして頂き声掛けに喜んで参加された。	
参加人数	実施2回	24名	参加人数	実施1回	12名

## 平成29年度華道クラブ活動報告

活動回数	24回	参加延人数	291名	平均参加人数	24名
活動報告	<p>華道を楽しみにされている利用者様が多く先生方にアドバイスをもらいながら積極的に お花を活ける様子が多くみられました。</p> <p>和気あいあいと和やかな雰囲気の中で今年度の華道クラブを行う事ができました。</p>				
月別活動報告					
	内 容		内 容		
4月	今年度より新しい先生になり、初めて参加された利用者様もいらっしゃいましたが、楽しくお話しされながら、活けられていました。	10月	喜んで参加して下さる利用者様も多く、皆様楽しそうにされていました。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		
5月	先生に声をかけ、アドバイスを求める等、積極的に参加され、楽しそうに活けられていました。	11月	文化祭は皆様、大変楽しそうにお花を活けられ、生き生きされていました。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 27名		
6月	季節の花を楽しそうに活けられる様子が多く見られました。皆さん、笑顔で参加されていました。	12月	積極的にお花を活ける姿が大変、楽しそうでした。皆、利用者様和気あいあい参加されていました。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		
7月	真剣に作品を創る姿が見られました。植物に詳しい利用者様がとても楽しそうに活けられていました。	1月	ひと足早く春らしいお花を活けました。また、お正月らしいお花と皆様大変楽しそうに生き生きと活けていました。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		
8月	暑い季節なので、長持ちさせられる様に工夫して活けられていました。季節に合った作品が多く出来ました。	2月	先生の助言を熱心に聞き、春らしいお花を皆さま、思い通りに活けていました。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		
9月	秋に向けて大きな作品作りを行いました。どの作品もとても立派でフラワーアレンジメントに詳しい来客の方にも褒められました。	3月	華道へのお誘いに喜ばれる利用者様が多く、楽しみにされているご様子。積極的に活けられ楽しそうでした。		
参加人数	活動2回 24名	参加人数	活動2回 24名		

## 平成29年度書道クラブ活動報告

活動回数	18回	参加延人数	251名	平均参加人数	14名
活動報告	<p>昨年度同様、各回12名以上の参加を目標としましたが、体調不良の方が多き時などは目標人数を下回る時もありました。しかしながら、毎月活動する事ができ平均人数は目標を上回る14名となりました。参加された方におかれましては安全で楽しい書道の時間を過ごしていただき、文化祭へも多くの出品できました。</p>				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	春をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	10月		来月の文化祭に向けて大きな作品に取り組みられる方が多く見られました。	
参加人数	21名	参加人数		28名	
5月	“つつじ”や“初夏”等、季節を感じられる言葉を選び好きなものを書いていただきました。	11月		今月は文化祭もあり個々の作品を展示し“クリ”や“もみじ”等、秋をテーマにした新たな作品に取り組みられていました。	
参加人数	9名	参加人数		9名	
6月	梅雨から夏にかけての言葉を選び手本を見ながら書いていただきました。	12月		“大晦日”や“元旦”“初雪”等、冬をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	23名	参加人数		28名	
7月	“ほたる”や“青空”等、夏をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	1月		先月に引き続き冬をテーマにした言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	16名	参加人数		15名	
8月	ボランティアさんと一緒に書道を楽しまれていました。	2月		“節分”や“うめ”“立春”等、季節を感じられる言葉を選び書いていただきました。	
参加人数	16名	参加人数		24名	
9月	今月は初めての方より多くの方に参加して書道を楽しんでいただきました。	3月		“桜”や“つくし”等、春を題材に書かれる方が多く見られました。	
参加人数	33名	参加人数		29名	

## 平成 2 9 年度音楽療法活動報告

活動回数	1 8 回	参加延人数	3 7 7 名	平均参加人数	2 1 名
活動報告	音楽に合わせて身体を動かす事により ADL 低下防止につながっている。 季節の歌を取り入れる事により季節感を感じる事ができた。また、2F ホールで合同の時は、他のフロアーに移動した方と言葉をかわしている様子が見られ交流の場になっている。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4 月	春を感じる歌をうたったり、ストレッチ、手拍子などで楽しむ	10 月		歌に合わせて身体を動かしたり、一緒に歌うなど楽しむ。	
参加人数/	1 7 名	参加人数		1 8 名	
5 月	歌やストレッチ・手拍子などをする。	11 月		歌に合わせてストレッチを行ったり、皆で歌をうたったり楽しむ。	
参加人数	3 6 名	参加人数		6 4 名	
6 月	歌やストレッチ・脳トレを行う。	12 月		歌に合わせてストレッチ・手拍子などする。季節の歌を皆でうたったりし、楽しむ。	
参加人数	2 2 名	参加人数		5 0 名	
7 月	歌に合わせてリズム体操、ストレッチを行い楽しむ。	1 月		参加者は少なかったが、歌をうたったり、身を動かし体操などをする。	
参加人数	1 4 名	参加人数		9 名	
8 月	懐かしい歌を歌ったり、体操をリズムに合わせて楽しむ。	2 月		歌や手遊び、イントロクイズをしたり、季節の歌を皆で一緒にうたったり楽しむ。	
参加人数	3 1 名	参加人数		5 3 名	
9 月	先生の伴奏に合わせて体操をし、身体を動かし楽しむ。	3 月		歌をうたったり、体操で身体を動かし楽しむ。	
参加人数	3 9 名	参加人数		3 3 名	

## 平成 29 年度紙芝居活動報告

活動回数	1 2 回	参加延人数	6 0 4 名	平均参加人数	5 0 名
活動報告	いままで出来なかった音響効果、視覚効果を出しながら、より変化を加え、利用者の方に喜んで頂けた。紙芝居の舞台となる木箱は予約が困難であることから、製作した。				
月別活動報告					
	内 容		内 容		
4 月	紙芝居 2 作品を実施した。 嚙下機能向上を考えた歌と体操を実施した。	10 月	紙芝居 3 作品を実施した。 2 階を中心に時間を掛けて行い、1 階、3 階は工夫して行った。		
参加人数	計 5 6 名	参加人数	計 4 3 名		
5 月	紙芝居 3 作品を実施した。 1 階に比重を置いて、2 階、3 階は工夫して行った。	11 月	感染の恐れがあったので、人数をおさえて紙芝居 2 作品を実施した。 紙芝居の木箱を作成した。		
参加人数	計 4 3 名	参加人数	計 2 8 名		
6 月	紙芝居 3 作品を実施した。 3 階を中心に（3 作品中 3 作品） 1、2 階は工夫して行った。	12 月	紙芝居 3 作品を実施した。		
参加人数	計 5 4 名	参加人数	計 4 9 名		
7 月	大型紙芝居 2 作品実施。 迫力があり、インパクトがあった。 多くの方に観て頂くためにフロアでも複数個所で行った。	1 月	紙芝居の声出しをスピーカーで通して行ったり『サザエさん』の歌に合わせて体操を行い好評であった。		
参加人数	計 7 7 名	参加人数	計 6 4 名		
8 月	紙芝居 3 作品を実施した。 2 階を中心に（3 作品全部）3 階は工夫して行った。	2 月	紙芝居 3 作品を実施した。 3 階を中心にして（3 作品全て） 1、2 階は工夫して行った。		
参加人数	計 3 3 名	参加人数	計 6 5 名		
9 月	紙芝居 2 作品実施。 2 階で感染の恐れがあったので、2Fのみ、日本昔ばなしの DVD を上映した。	3 月	紙芝居 4 作品を実施した。 1 階を中心にして、2、3 階は工夫して行った。		
参加人数	計 4 2 名	参加人数	計 5 0 名		

## 平成29年度スポーツ活動報告

活動回数	12回	参加延人数	606名	平均参加人数	50名
活動報告	昨年度と比べると手指消毒を徹底したり、各職員の危機管理能力が上がりインフルエンザの流行を最小限に抑えられた為により多くの利用者様にレクへ参加して頂けた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	ボーリング、釣りゲーム等を行い、主に上肢の運動を実施		10月	運動会で一番盛り上がったパン喰い競争で取ったパンを美味しく召し上がった。	
参加人数	59名		参加人数	47名	
5月	ボーリング等のゲームを行ったり近所の公園へ散歩に出掛け消防車や花を観たりした。		11月	遊具、ボールを使用して遊んだ。	
参加人数	11名		参加人数	56名	
6月	午前と午後の両方でレクを行いより多くの利用者様に参加して頂くことに努めた。		12月	輪投げ、ボーリング、釣りゲーム等、運動的要素を盛り込んだレクを行った。	
参加人数	103名		参加人数	67名	
7月	大きな声出しながら発語を促しつつ腕や手を動かす体操をした。		1月	車椅子の利用者様を丸テーブルに集めボール遊びを行った。インフルエンザ予防の為、各フロアー毎に行った。	
参加人数	24名		参加人数	59名	
8月	風船やビーチボールで自然に上肢の体操になるような運動を楽しんで行った。		2月	各フロアーの状況を見ながら、ボーリングや釣りゲーム、輪投げ等を行った。	
参加人数	36名		参加人数	62名	
9月	ボーリング・ボール遊び・ボール渡し競争・ラジオ体操・ジャンケンゲーム等、様々なゲームを楽しく行った。		3月	各フロアー毎に、それぞれ運動や体操、歌を唄うなどのレクを行った。	
参加人数	55名		参加人数	27名	

# 平成29年度外出活動報告

活動回数	11回	参加延人数	95名	平均参加人数	9名
活動報告	季節に合わせた企画を楽しんで頂けた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	杉の子第3保育園のミニ運動会に参加しました。玉入れに参加。皆さん童心にかえって一生懸命、玉を投げていました。		10月	第2・第3サンシャインビラ文化祭に参加しました。歌に合わせて手拍子をする等、皆さん楽しまれていました。 杉の子保育園、芋煮会に行きました。小さな子供達を見て皆さん目を細めていらっしゃいました。	
参加人数	7名		参加人数	14名	
5月	5/5 町内会の凧揚げ大会を見に行きました。		11月	あきる野の瀬音の湯に行きました。赤や黄色の紅葉を眺め、お昼ご飯を食べてきました。青梅のかんぽの宿に行き食事をしてきました。	
参加人数	3名		参加人数	6名	
6月	ドライブに行きました。外の景色を見て「たまにはいいね」と楽しまれていました。		12月	不二家にてケーキとコーヒー等飲み物を召し上がりました。 楽しそうにケーキを選んでいらっしゃいました。	
参加人数	15名		参加人数	6名	
7月	杉の子第3保育園の七夕会を見に行きました。歌や劇など、小さなお子さん達の歓迎に涙されている方もいらっしゃいました。		1月	初詣に熊川神社に行きました。 お守りと甘酒を頂き笑顔で喜ばれていました。	
参加人数	5名		参加人数	18名	
8月	不二家レストランにお昼ご飯を食べに行きました。ハンバーグやとんかつ、あんみつ等、美味しそうに召し上がっていらっしゃいました。		2月	中止	
参加人数	5名		参加人数		
9月	山梨にぶどう狩りに行きました。ぶどうを味わい、お天気も良く、皆さん楽しまれていました。お昼のほうとうも美味しそうに召し上がりました。		3月	不二家レストランに行きました。ケーキやティラミス、あんみつ、チョコレートパフェとコーヒーを召し上がり、楽しい時間を過ごされました。	
参加人数	9名		参加人数	7名	

# 平成29年度工作活動報告

活動回数	16回	参加延人数	136名	平均参加人数	8.5名
活動報告	<p>活動目標である、1. 作る楽しみを感じて、意欲に繋げるは、皆さん作品ごとに色々なアイデアや工夫を下さり、個性のある作品に仕上がりました。</p> <p>2. 制作の準備をする。作品は文化祭に展示するは、準備や仕上げには時間がかかりましたが、皆さんが楽しく出来て、文化祭にもたくさんの作品展示が出来ました。</p> <p>作品だけでなく、工作を作っている間に利用者と職員の何気ない会話を楽しみに来られる方もいらっしゃいました。来年度、引き続き行ってほしいと思いました。</p>				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	こいのぼり 小さな鯉の体に折り紙で柄を付けて、大きな3匹の鯉を作りました。		10月	ぶどう ぶどう棚にぶどうを張り付けていただきました。	
参加人数	4/19 3名	4/25 11名	14名	参加人数	10/23 16名
5月	あじさい 施設の理念でもある、季節感のある行事を行うと言う事で工作クラブでは季節が感じられるような作品を作成しました。		11月	11/3 文化祭には『こいのぼり』『あじさい』『うちわ』『ぶどう』と大きな作品や個人の作品を展示する事が出来ました。  まつぼっくりツリー	
参加人数	5/23 15名		参加人数	11/28 9名	
6月	あじさい 5月・6月にわたり、フロア毎の作品。絵具を使い創り上げました。		12月	まつぼっくりツリー 11月から大きなまつぼっくりにビーズやボタン等の飾りを付け、フロアのクリスマス飾りと一緒にフロアを賑やかにしました。	
参加人数	6/27 18名	参加人数	12/11 7名 12/18 3名 10名		
7月	うちわ 【祭】の字を貼り、色々な折り紙を貼って個性的なうちわを作り上げました。		1月	節分の鬼 2月の節分の赤鬼・青鬼・緑鬼を作成する為に鬼の色を選んで頂き作成しました。	
参加人数	7/25 11名	7/27 3名	14名 参加人数 1/23 9名		
8月	ぶどう 色画用紙を切ったり、輪を作ってもらったりとぶどうの準備を行ってもらいました。		2月	ひな人形カレンダーと塗り絵 来月のカレンダー(雛人形)に色を塗ってもらい、簡単な塗り絵から大人の塗り絵まで入れた中から皆さんに選んでもらって塗って頂きました。	
参加人数	8/28 8名	参加人数	2/27 11名		
9月	ぶどう ぶどうの形の色画用紙に輪を張り付けていただきました。		3月	桜 2名と少ない人数でしたが、観桜会で飾って頂く作品を創り上げました。	
参加人数	9/25 5名	9/28 5名	10名 参加人数 3/27 2名		

## 平成 29 年度活動計画

名 称	園 芸	活 動 回 数	7 回
参加合計	80名	活 動 場 所	中 庭 等
	<p>4月 プランターに花を植える (8名参加)</p> <p>5月 ゴーヤ、きゅうり、トマト、ナス、ピーマンを植える (4名参加)</p> <p>6月 きゅうり、トマト、ナス、ピーマンの観察と収穫 (6名参加)</p> <p>7月 水まき、ゴーヤの収穫、きゅうり、トマト、ピーマンの収穫と試食 (4名参加)</p> <p>8月 ゴーヤ、トマト、ナスの収穫と試食 (6名参加)</p> <p>12月 オレンジ等の収穫と鑑賞。写真を撮る。(52名参加)</p> <p><b>*屋外活動として、外気浴も兼ねて、季節に応じた活動が出来ました。収穫の喜びを味わいながら、楽しく、活性化がはかれ、利用者様の生活の向上に役立ったと思います。</b></p>		

名 称	手 芸	活 動 回 数	5 回
参加合計	32名	活 動 場 所	2階ホール
	<p>4月 ポーチ等に取り組み完成した方もありました (5名参加)</p> <p>6月 2名の見学者もあり熱心に取り組んでいました (10名参加)</p> <p>10月 作りかけの作品を完成に向けて取り組みました (11名参加)</p> <p>11月 目が見えにくいと話す方も熱心に製作しました (3名参加)</p> <p>12月 集中して取り組みました (3名参加)</p> <p><b>*作品の製作とともに、会話がはずみました。作品が完成すると、とても満足そうな笑顔でした。</b></p>		

名 称	朗 読	活 動 回 数	1 3 回
参加合計	2 0 4 名	活 動 場 所	2階ホール等
	<p>4月 西多摩の民話と昔話・懐かしい歌を唄う (11名参加)</p> <p>5月 懐かしい歌を唄う (14名参加)</p> <p>6月 お話の朗読・歌・体操等 2回実施 (45名参加)</p> <p>7月 お話の朗読を 2回実施 (13名参加)</p> <p>8月 お話の朗読 (18名参加)</p> <p>9月 詩・フリートーク・お話の朗読 (14名参加)</p> <p>10月 紙芝居・歌・読み聞かせを 2回実施 (29名参加)</p> <p>2月 歌と朗読を 2回実施 (31名参加)</p> <p>3月 お話の朗読 (14名参加)</p> <p><b>*ボランティアの皆様と利用者様とで、歌を唄ったり、軽い体操をしたり、普段と違う時間を過ごし、日常生活の充実が図れました。</b></p>		

名 称	カラオケ・上映	活 動 回 数	3 回
参加合計	1 0 3 名	活 動 場 所	2階ホール
	<p>5月 カラオケ (24名参加)</p> <p>10月 上映会 2回開催 寅次郎 子守唄 (17名参加) 寅次郎 恋やつれ (25名参加)</p> <p>1月 カラオケ (37名)</p> <p><b>*カラオケも、上映会もどちらも利用者様には、とても好評でした。 来年度は、さらに回数を多く実施し、多くの方に楽しんで いただきたいと思います。</b></p>		

## H29年度ラジオ体操活動報告

- ・ 担当者が毎月1週目は1F、2週目は2F、3週目は3Fにて1週間続けて体操を行う。
- ・ 利用者様と体操を行うことで、利用者様の健康維持、職員との関係を良好に保つことを目的とする。

実施月	参加人数	備考
H29. 4月	79名	
H29. 5月	53名	
H29. 6月	173名	運動会実施 多くの利用者様が参加される
H29. 7月	211名	盆踊りの練習に利用者様も参加される
H29. 8月	116名	
H29. 9月	71名	
H29. 10月	24名	
H29. 11月	131名	
H29. 12月	65名	
H30. 1月	20名	
H30. 2月	25名	
H30. 3月	45名	

# 平成 29 年度 防災の報告

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々  
予期せぬ事態を想定し、訓練を行いました。  
どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り  
組みました。

## 1. 訓練の記録

### ・実施日

- 5月 31日（地震発生・火災発生・初期消火）
  - 7月 25日（平成 29 年度自衛消防訓練審査会に伴う事前説明会）
  - 7月 25日～
  - 8月 15日（地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて  
14回、訓練を行った）
  - 8月 16日～
  - 9月 15日（同上の訓練を 18 回行った）
  - 9月 6日～
  - 9月 12日（消防署の指導を受け事前訓練を 4 回行った）
  - 9月 26日（自衛消防訓練審査会に参加）
  - 12月 13日（夜勤帯に地震発生・火災発生・初期消火、消火器の取扱い方法）
  - 3月 6日（同上）
- ・ 41 回、訓練を行いました。

## 2. 防災会議の記録

### ・実施日

- 4月 28日 ・ 5月 26日 ・ 6月 9日 ・ 6月 23日 ・ 7月 2日 ・ 7月 12日 ・
  - 7月 25日 ・ 7月 28日 ・ 8月 25日 ・ 9月 16日 ・ 9月 22日 ・ 10月 14日 ・
  - 10月 17日 ・ 11月 30日 ・ 12月 22日 ・ 1月 26日 ・ 2月 6日 ・ 2月 9日 ・
  - 2月 23日 ・ 3月 23日 ・
- ・ 20 回、会議を行いました。

## 3. 不審者対策

- ・ 震災、火災に対する訓練を例年同様に行った上で、不審者対策を強化しました。  
福生警察に不審者対応研修を依頼し、内部研修で学び、「備え」の心構えを強め  
防災意識とともに、不審者対策の強化が図れました。

## 平成 29 年度 使用物品等の報告

「在庫が少なくなったことに気付いた職員が、事務所にメモで知らせる」と言う方法が定着しました。

事務所で発注して納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

各職員一人一人の意識で、チームワーク良くすすめる事が出来ました。物品を持ち出したときに行う記録の残数が合わないことが多くあり、課題が引き続き残っています。

## 平成 29 年度 シーツ等リネン類の発注管理の報告

シーツ等リネン類の発注に関し、シーツ交換の委託業者に依頼しました。シーツ交換を業者に委託する事により、介護職員はリネン交換以外の介護に取り組むことが出来ています。

その時間を利用者様との会話や関わりの時間にできる事は良い効果です。定期的なシーツ交換以外の交換は介護職員が行い、利用者様の心地よい環境を支援しました。

## 平成 29 年度 おむつ管理の報告

- ・リースの清拭布を使用しています。  
清拭布の使用にあたっては、職員はコスト意識を持って使用しています。排泄委員の働きかけにより、それぞれの職員の意識も高まりました。無駄な使い方をしないように注意しています。
- ・紙おむつ類は、パンツ型・テープ型のおむつと尿取りパットを使用しています。それぞれの方の排泄状況をアセスメントし、利用者様の状態に合わせた使用物品を選択し、排泄委員が中心になり、各フロアーリーダーの意見等も参考にしながら、利用者様が快適に過ごしていただくことに重点を置きました。
- ・利用者様の平均要介護度が高くなり、排泄介助の必要な方がほとんどとなったせいか、排泄用品の年間使用量が増加しました。
- ・今年度も排泄面の向上を目指して取り組み、事例に基づいた内部研修を実施し、プライバシーへの配慮や正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えや技術の習得に力を入れて、人材育成を行うことが出来ました。

## 平成29年度 年間行事実施状況報告書

年間行事を予定通り実施し、今年度も季節感を感じていただけた。精神面の充実にもつながり  
活性化が図れた。

今年も運動会を行う事ができました。紅白に分かれて真剣な表情で競い合いました。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	9	日	観桜会	81	六本木ヒロシ歌謡ショー・日舞・カラオケ・職員による演芸 和菓子・ミニケーキ・ソフトクリームもあり、スイーツが充実して喜んでいただきました。
6	9	金	運動会	69	紅白対抗玉入れ・だるま渡し・大声大会・応援合戦・職員による車椅子競争・ パン喰い競争。安全に楽しく行う事ができました。
7	9	日	納涼祭	93	武州唐獅子太鼓・セピア・すいか割り・カラオケ・盆踊り お囃子の演奏で皆様をお出迎えし楽しいひと時を過ごして頂けました。
9	17	月	敬老会	84	一部式典(開会の言葉・理事長式辞・お祝いの電報・長寿、表彰・利用者代表謝辞) 二部、喫茶・歌の会・お楽しみ抽選会
11	3	金	文化祭	88	六本木ヒロシ歌謡ショー・日舞・カラオケ 展示する場所を設け、写真や展示物をゆっくり皆様に見て頂けた。
12	25	月	クリスマス会	100	各フロアーにて行った。駄菓子ボックスを使いサンタからのプレゼント風にしました。 演奏後には喫茶でケーキを食べました。
1	1	金	元旦祭	82	2Fホール新年の一部式典、理事長新年挨拶・職員代表挨拶・乾杯・利用者代表挨拶 お正月の唄。二部甘酒を頂きながら昔懐かしいゲームやお正月遊び。
2	3	土	節分	82	一部、節分の由来・寸劇(豆まき)。二部、喫茶、写真撮影、カラオケ大会 皆さん鬼に向かって豆を思いっきり投げいらっしやいました。
3	3	土	ひな祭り	86	ホールにてひな祭りを行いました。「うれしいひな祭り」を唄いました。 おやつに甘酒と雛あられを食べました。

# 行 事 日 程 と 実 績

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	29年 4月 9日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	6,602 161,736 111,822 10,350	290,510
運動会	29年 6月 9日 (金)	備品購入 その他	11,880	11,880
納涼祭	29年 7月 9日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	2,542 120,353 130,000 17,610	270,505
地域祭礼	29年 7月29日 (土) 玄関前	飲み物 菓子等	12,845 10,908	23,753
敬老会	29年 9月17日 (日) 2階ホール	花 公演等御礼 その他	10,000 0 32,567	42,567
文化祭	29年11月 3日 (祝日) 文化の日 玄関ホールと 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	3,034 119,787 96,822 13,638	233,281
クリスマス	29年12月25日 (月) 2階ホール	会場備品準備 その他	7,514 10,578	18,092
餅つき大会	29年12月28日 (木) 2階ホール	もち米. 他	5,393	5,393
正月	30年1月1.2.3日(金.土.日) 各フロアと 2階ホール	門松.お飾り 花 公演等御礼 その他	58,416 5,000 10,000 6,481	79,897
節分祭	30年 2月 3日 (金) 各フロアと 2階ホール	鬼打ち豆 その他	1,209 4,832	6,041
ひな祭り	30年 3月 3日 (金) 2階ホール	あられ.他 花	3,655 0	3,655

¥ 985,574

## 平成29年度 ボランティア受入状況報告

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
4	1	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	3	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	5	朗読	3	本の朗読
	7	作業補助(個人・女性)	1	トイレ清掃
	8	観桜会準備	1	紅白幕等準備
	9	観桜会	5	模擬店商品受渡し
	11	11	2	会場対応
	11	11	2	踊り
	11	11	18	武州唐獅子太鼓
	11	11	2	お客様対応
	10	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	12	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	11	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	14	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	15	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	18	保育園児	30	慰問
	11	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	19	作業補助(個人・女性)	1	ガーゼ切り
	21	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	23	慰問(個人・男性)	1	踊り・草笛
	24	茶道クラブ	1	茶道講習
	26	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	11	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	作業補助(個人・女性)	1	床・階段清掃
	29	慰問	8	踊り・草笛
5	1	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	6	茶道クラブ	1	茶道講習
	8	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	10	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	13	福生高校定時制ボランティア部	6	利用者レクリエーション
	14	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	16	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	17	朗読	4	本の朗読
	19	作業補助(個人・女性)	1	階段清掃
	20	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	21	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)

月	日	行事(作業)名	人数	活動内容
5	24	華道クラブ	1	華道講習・準備等
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	26	作業補助(個人・女性)	1	手摺り等の消毒・階段清掃
	27	茶道クラブ	1	茶道講習
	28	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	29	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
6	2	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	福生高校定時制ボランティア部	5	利用者レクリエーション
	5	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	7	朗読	4	本の朗読
	10	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	12	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	14	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	17	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	20	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	21	朗読	3	本の朗読
	23	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	25	利用者レクリエーション	1	草笛他
	11	慰問	7	演芸
	28	華道クラブ	1	華道講習
	30	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
7	1	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	3	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	5	朗読	3	本の朗読
	7	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	12	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	14	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	15	茶道クラブ	1	茶道講習
	19	朗読	3	本の朗読
	20	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	21	介護作業等補助(個人・女性)	1	床清掃
	22	夏・体験ボランティア	2	介護作業補助他
	24	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	26	華道クラブ	1	華道講習
	28	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
8	4	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	8	慰問	25	児童合唱団 披露
	11	華道クラブ	1	華道講習
	11	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	9	華道クラブ	1	華道講習

8	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	茶道クラブ	1	茶道講習
	15	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	16	朗読	3	本の朗読
	18	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	19	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	22	利用者レクリエーション	1	草笛他
	11	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	23	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	24	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	25	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	26	慰問	8	演芸披露
	31	福生高校定時制ボランティア部	3	利用者レクリエーション
9	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	2	茶道クラブ	1	茶道講習
	11	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	11	朗読	2	本の朗読
	6	介護作業等補助(個人・女性)	1	ガーゼたたみ・トイレ清掃
	8	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	13	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	23	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	27	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	29	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	30	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
10	2	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	4	利用者レクリエーション	1	フラダンス
	11	朗読	2	本の朗読
	6	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	7	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	16	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	17	慰問・介護補助	5	清拭たたみ
	18	朗読	2	本の朗読
	21	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	11	茶道クラブ	1	茶道講習
	22	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	24	利用者レクリエーション	1	草笛他
	25	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	27	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	29	慰問	20	保育園児他
	30	慰問	1	ウクレレ・フラダンス 披露

11	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	2	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	3	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	10	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	13	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	17	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	18	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	22	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	24	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	25	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	29	//	2	//
12	1	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	2	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	//	茶道クラブ	1	茶道講習
	8	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	10	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	11	生活リハビリ(個人・女性)	1	利用者手作り作品作成
	13	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	14	作業補助(個人・男性)	1	床清掃
	16	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	26	利用者レクリエーション	1	草笛他
	//	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	27	介護作業等補助(個人・女性)	1	清掃
	29	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	//	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
1	6	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	10	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	12	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	15	慰問	1	フラダンス
	16	慰問・介護補助	8	清拭たたみ
	17	介護作業等補助(個人・女性)	1	ドアノブ・手すりの消毒
	19	介護作業等補助(個人・女性)	1	トイレ・床清掃
	20	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
2	3	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	7	朗読	3	2Fホール
	8	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	10	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	14	華道クラブ	1	華道講習
	//	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助
	17	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	//	書道クラブ	1	補佐
	21	朗読	3	2Fホール
	22	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	27	利用者レクリエーション	1	草笛他
	28	華道クラブ	2	華道講習

3	1	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	3	書道クラブ	1	クラブ活動の準備・片付け等
	7	朗読	3	2Fホール
	10	慰問	20	合唱
	12	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	11	介護作業等補助(個人・男性)	1	トイレ・床清掃
	14	華道クラブ	1	華道講習
	17	書道クラブ	2	クラブ活動の準備・片付け等
	24	茶道クラブ	1	茶道講習
	25	利用者レクリエーション	1	音楽療法(歌、ピアノ)
	28	華道クラブ	1	華道講習
	11	作業補助(個人・女性)	1	華道クラブ補助

年間 延べ 437名のボランティアさんに 活動して頂きました。

## 実習生・研修生受入記録

No.	期 間 (年 ) ~			実 習 依 頼 先	実 習 内 容	人数	日数
1	29	6/13	6/15	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	9	1
2	〃	7/31	8/13	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	1	10
3	〃	8/7	9/1	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	4	5
4	〃	8/18	8/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	2	10
5	〃	9/11	9/11	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	1	1
6	30	3/19	3/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士実習	2	10
計						19	名

※ 中学生の職場体験として、福生市立福生1中・あきる野市立秋多中の生徒及びインターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

## 平成29年度 地域行事参加状況一覧表

地域の行事への参加は良い外出の機会となった。

月	日	曜日	行事名	参加人数	内容
4	2	日	第2観桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
	22	土	第3観桜会	5	楽しい催し物に美味しいご馳走を頂きました。
5	5	金	凧揚げ(町内会)	8	大きな凧が空に上がる所を見ました。
6	29	木	福老連演芸大会	5	歌や踊りを見に行きました。
7	22	土	第3納涼祭	4	ベリーダンス・よさこいソーラン、盆踊りを見てきました。
	29	土	夏祭り(志茂一町会)	28	山車・神輿の休憩所
8	4~6	金	福生七夕ドライブ	5	福生市の七夕飾りを車の中から見物しました。
9	10	日	福生市敬老会	7	福生市民会館にて表彰後、歌謡ショー
	16	金	消防審査会	5	施設の職員が参加され、応援に行きました。 皆さんの緊張が伝わってきました。
10	1	日	福祉まつり	4	催し物を見たり、好きな物を購入しました。
	15	日	第2文化祭	5	沢山の作品を見て美味しいご馳走も頂きました。
	28	土	第3文化祭	4	作品を見たり購入したり美味しいご馳走も頂きました。
12	4	月	福生第7小学校	29	『お年寄りと交流をしよう～サンシャインビラ訪問』
			合 計	114	

# 設備改善及び備品購入状況

項目	月	日	件名	数量	金額	使用場所	納入業者	
設備・備品	6	1	ノートパソコン	1	151,800	医務室	株)コジマ	
	6	19	コピー機	1	1,560,600	事務室	株)ツクモ商事	
	7	31	医務室天井エアコン	1	280,800	医務室	有)岡野電機	
	8	31	職員トイレ便器交換	3	669,276	職員トイレ1-3階	有)金子設備工業	
	〃	〃	心電計	1	540,000	医務室	日本光電工業(株)	
	〃	〃	製氷機	1	216,000	介護室1階	株)マルゼン	
	〃	〃	流し交換	1	155,196	医務室	有)金子設備工業	
	〃	〃	居室便器交換	25	1,755,000	各居室	〃	
	〃	〃	施設内給水管交換工事	一式	13,173,048	屋上	〃	
	〃	〃	居室トイレ改修工事	一式	5,288,976	各居室	〃	
	9	30	清拭車	1	194,400	3階	株)キュアサポート	
	〃	〃	パソコン(ノート・一体型)	4	505,116	事務室	株)マイルストーン	
	10	〃	電動ベッド	10	1,976,400	居室	デーエヌ企画	
	11	〃	パソコン(ノート・一体型)	2	275,184	事務室・医務室	株)マイルストーン	
	〃	〃	膨張水槽(給湯用)	一式	1,510,272	屋上	有)金子設備工業	
	〃	〃	厨房屋根部分駐車フェンス	一式	986,523	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
	〃	〃	厨房一体型トイレ	1	222,372	厨房	〃	
	〃	〃	洗濯室土間雑排水管新設配管工事	一式	264,600	洗濯室	〃	
	〃	〃	厨房屋根部分防水工事	一式	2,197,309	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
	〃	〃	厨房屋根部分駐車スペース補強工事	一式	2,020,688	厨房屋根部分駐車スペース	〃	
30年	1	31	玄関先水栓手洗器	1	145,800	玄関	〃	
小計					34,089,360			
修繕費	8	31	床下水漏れ工事	一式	309,636	床下	有)金子設備工業	
	12	31	介護室看護室等ドア交換・3階天井換気ダクト、エアコン、ベントキャップ清掃他	〃	248,400	介護室看護室・3階天井他	〃	
	30年	1	31	受水槽塗装工事	〃	388,800	機械浴室隣り	〃
	3	31	ボイラー機械室上部水漏れ修理	〃	242,000	ボイラー機械室	〃	
小計					1,188,836			
合計					35,278,196			

# 平成29年度 短期入所生活介護事業報告

## 1. 基本方針

### 1) 月別利用者延人数調査

4月 27名 ・ 5月 29名 ・ 6月 41名  
7月 15名 ・ 8月 28名 ・ 9月 31名  
10月 12名 ・ 11月 53名 ・ 12月 36名  
1月 27名 ・ 2月 12名 ・ 3月 49名  
1年間に、延べ人数で合計360名の方に利用していただきました。

制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えることを実践しました。

2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

## 2. 重点目標

「いつでもそばに～心に届く介護～」を合言葉に職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な受け入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修とOJTを強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。
- (6) 生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して居宅へ戻れるよう支援しました。